



2019 年度継続研修講座

「パーソンセンタード & 体験的アプローチ (PC&EA)」

人間尊重の心理学に基づく対人援助を学ぼう！AIの時代に生き残るのは人間が人間に関わる職業です！

セッション1 6/1(土)	13:00 ～ 17:00	清水 幹夫 (法政大学 名誉教授)	<p>「ロジャーズの生涯と仕事」 C. R. ロジャーズのサイコセラピストとしての「基本仮説」がどのように芽生えパーソナリティ理論としてまとめられていったのか、また「基本仮説」の元で、受容・共感・一致などのセラピーの条件がどのように集約されていったのかを取り上げることによって、今年度の継続研修の前座になれば幸いです。</p>	
ワークショップ1 (WS1) 6/16(日)	10:00 ～ 17:00	諸富 祥彦 (明治大学教授)	<p>「本物の傾聴」 本物の受容(無条件の積極的関心)・共感・一致を基とした傾聴の真髄にせまる。受講者の体験なども織り交ぜて、腑に落ちるわかり方を目指す。楽しく真剣に、取り組みましょう。</p>	
セッション 2 7/6(土)	13:00 ～ 17:00	野島 一彦 (跡見女子学 園大学教授)	<p>「さまざまなグループ・アプローチ やってみよう！」 エンカウンター・グループがわが国に導入されてから半世紀が経過しようとしています。この間にその理論と実践は独自の発展をし、そしてまだまだ発展し続けています。その過去・現在・未来について語り合えたらと思います。</p>	
セッション 3 8/3(土)	13:00 ～ 17:00	岡村 達也 (文教大学教授)	<p>「佐治守夫の面接に学ぶ」 なにも加えず、なにも減らさず、あることを、あることとして、そこに置くこと。それは協働作業であるということ。すなわち、両サイドにおける強力な恣意性が前提であるということ。クライアントとカウンセラーは、等価の、強者であり弱者であるということ。対話ではなく、対座が根源であるということ。</p>	
セッション 4 9/7(土)	13:00 ～ 17:00	末武 康弘 (法政大学教授)	<p>「ジェンドリンの哲学と体験過程」 ロジャーズが亡くなって 32 年が経ち、後継者のジェンドリンも一昨年 90 歳で亡くなりました。パーソンセンタードはこれからどこへ向かうのでしょうか？ 皆さんとこの問題を真剣に考えたいと思います。</p>	
ワークシ ョップ 2 (WS2)	9/15 (日)	13:00 ～ 18:00	池見 陽 (関西大学教授)	<p>「池見陽と学ぶフォーカシング」 体験過程理論(現象学・解釈学・メタファ理論)についてペアワークを含めてわかりやすく提示していきます。今のところ「アニコロ」を予定しています。また、ジェンドリンの「フォーカシング・ショートフォーム」実演予定。</p>
	9/16 (月 祝)	10:00 ～ 17:00	池見 陽 諸富 祥彦	<p>「池見・諸富コラボレーション」 スペースとマインドフルネスをフォーカシングに取り入れた「観我フォーカシング」。皮膚という封筒の中身ではないカラダ(ジェンドリン)と池見のcombodying論。 午後は、池見・諸富のコラボレーション、何が飛び出すか乞うご期待！</p>
セッション 5 10/26(土)	13:00 ～ 17:00	岩壁 茂 (お茶の水女子 大学教授)	<p>「エモーション・フォーカスト・セラピー(EFT)」 EFT は、ロジャースの考え方を現代の認知心理学、情動神経科学、アタッチメント、感情心理学などと照らし合わせることによって発展した統合的なアプローチです。感情の変容プロセスを一緒に追っていかれたらと思います。</p>	
セッション 6 11/2(土)	13:00 ～ 17:00	櫻本 洋樹 (NTT 東日本 伊豆病院)	<p>「フォーカシング指向的精神科面接」 ジェンドリンの理論や哲学のエッセンスを踏まえて工夫すると、フォーカシングは神経症水準だけでなく精神病水準、発達障害など様々な患者さんの支援に役立てることが可能です。前半は工夫のポイントをご紹介させて頂き、後半は Q&A コーナーを開かせて頂きたいと考えています。</p>	



2019 年度継続研修講座
「パーソンセンタード & 体験的アプローチ (PC&EA)」

1987年に他界したC. R. Rogersは「人間には有機体として自己実現する力が自然に備わっており、その有機体としての成長と可能性の実現を目指すのは人間そのものの性質である。カウンセリングの使命は、この成長と可能性の実現を促す環境をつくることにあり、自分自身を受容したとき、人間には変化と成長が起こる。」と述べている。

E. T. Gendlin は、カウンセリングの実践を研究する中から体験過程理論を構築し、カウンセリングのエッセンスともいえるフォーカシングの理論と技法を提唱した。この両者の人間尊重に基づく考え方は、パーソンセンタード・アプローチから、感情にフォーカスする、エモーション・フォーカスト・セラピーという統合的理論に発展している。

現在の様々な心理療法の理論や技法も長短がある中、対人関係の相互作用は心理療法に影響を及ぼす要素である。そして、欠かせない態度が「受容・共感・一致」である。最も重要なことは、人間は良い悪いと評価的判断をされず、十分に等身大の自分をわかってもらえたとき、自分自身を受容し、我が身をつらいけれど愛おしく思い、変化していけるようになるのである。人間は外から力を持って変えることはできない。様々な心理療法が出尽くした感がある今、初心に帰って人間の成長と可能性の実現を促す PC&EA を学んで、底力をつけましょう。多くの皆様の参加を講師一同お待ちしております。

【日 程】2019年6月～11月(全9日) 裏面を参照 ※日程など変更になることもあります。
【会 場】NPO 法人 CESC 教室
【対 象】心理臨床、対人援助に携わる方 カウンセリング等学習経験者・心理学部生・院生
【定 員】セッション:24名(①全9日一括の方を優先します。) ワークショップ:若干名
【受講料】①**全9日一括:**会員:74,000円(消費税込)+年会費6,000円 一般:85,000円(消費税込)
 心理学部生・院生(社会人除):40,000円(消費税込)
 ②**セッション1～6:**会員:48,000円(消費税込)+年会費6,000円 一般:55,000円(消費税込)
 心理学部生・院生(社会人除):20,000円(消費税込)
 ③**ワークショップ1:**6/16(日) 会員:18,000円(消費税込) 一般:25,000円(消費税込)
 ④**ワークショップ2:**9/15・16(日・月祝) 会員:36,000円(消費税込) 一般:43,000円(消費税込)

【申 込】 <http://www.npo-cesc.or.jp> “学び場”の申込フォームから、必要事項記入の上送信
 または申込書を03-3233-3364にFAX

※申込受理後、事務局より受講料納入案内(詳細記載)メールを返信。(しばらく時間が掛かります。)
 ※納入された受講料の返金はいたしかねます。ご了承下さい。

「パーソンセンタード&体験的アプローチ」

申 込 書 記入日 2019年 月 日

氏名(ふりがな)	住所(〒 -)
電話番号	メールアドレス<PCと携帯どちらもお持ちの方は両方を教えてください。またセスク連絡先として希望するアドレスに○をつけてください。>
携帯電話番号	・P C: ・携 帯:
2019年度: 会員(継続・新規) / 一般	職業など:
資格 <取得している資格に○をつけてください。> ・臨床心理士(登録番号) ・公認心理師 ・精神保健福祉士 ・日本カウンセリング学会認定カウンセラー ・産業カウンセラー ・キャリア・コンサルタント ・その他()	受講希望番号 <○をつけてください> ① 全9日一括・・・(会員 学生院生 一般) ② セッション6日・・・(会員 学生院生 一般) ③ 6/16(日)・・・(会員 一般) ④ 9/15・16(日祝)・・・(会員 一般)